ところざわ倶楽部　　野老澤の歴史をたのしむ会

さいたま緑の森博物館と入間市宮寺地区の史跡を訪ねて

時は春、日は朝、朝は七時、

片岡に露みちて、揚雲雀なのりいで、蝸牛枝に這ひ、

神、そらに知ろしめす。すべて世は事もなし。

（海潮音）

現在なかなか事はなし。とはいかないもの…

しかし、私たちは森を歩く…

弥生 3 月 19 日　“靖国神社の桜”　開花宣言！

咲いた咲いた桜が咲いた、海潮音の名訳を口ずさみながら

さあー、“さいたま緑の森博物館”へ

知らなかった！“さいたま緑の森博物館”が**自然そのもの**を展示物とする野外博物館（Field Museam）だったとは・・・。

広さ 85.5ha、敷地内にのびるたくさんの散策路をたどれば春夏秋冬、折々の里山、さまざまな自然と触れ合うことができる自然が博物館。

植生遷移展示ゾーン、雑木林展示ゾーン、ふるさと景観展示ゾーンに分けられていて、今回はその中心部にあたる雑木林展示ゾーンを巡る。

我ら歴史サークル老若男女 18 名、宮寺西行きのバスに乗車。車内ほぼ満員。中世武蔵野の面影をわずかに残す小手指ヶ原から旧青梅道を進む。

早朝曇っていた空も雲流れ、関東山地の山々が見え始める。晴れてきた！

9 時 50 分荻原バス停にて降車、彼方に大きなケヤキが見える。その近くに武蔵七党の一つ村山氏一族「宮寺氏の館跡」の案内板がある。実際の史跡はさらに右手奥「西勝院」にある。なるほど西勝院の甍と土塁跡が見える。

雑木林に囲まれた細い山道になる。見えた！“さいたま緑の森博物館”案内所だ！

山小屋風の素敵な木造ロッジだ。1 階は展示コーナーとセミナー室。薪ストーブがあかあかと燃えている。山小屋にいるような気分だ。

お待ちかね！本日のガイド、坂本さん登場。

ガイド歴 10 年以上のベテランだ。狭山丘陵の成り立ち、“さいたま緑の森博物館”の内容と特色、本日のコース概要そして諸注意などを詳しく話していただく。

さあ~、“里山満喫コース”スタート！

1 階の展示室から戸外へ出る。水鳥の池（昔の大谷戸湿地）が広がる。秋から冬、ほぼ葭におおわれていたそうだが、春になってだいぶ刈りとられ、水面に水生植物がのぞく。池のほとり、刈りとられた葭を敷き詰めた道を歩く。

大谷戸湿地、50 年ほど前までは水田だったそうだ。

「あっ、カエルの卵だ！あっちにも、こっちにも」アマガエルとヒキガエルの 2 種類。すでにオタマジャクシに変わったものもある。

この日は水鳥が見られなかったが、カワセミもやって来るし、もちろんトンボも舞うとのこと（時にマムシも出る、要注意）。

池のほとりを進む。やがて登り坂になる。雑木林の森の中、急斜面の山道をハアー

ハアー息を弾ませながら一歩一歩登る。

突然空がぬけた。尾根だ！尾根に出たんだ！尾根の北面は嶌や蔓に被われた暗い雑木林。南面は手入れがゆき届いた明るい伐採林。対照的な光景だ。

尾根道を北に進む、庚申塔が見える。この尾根道はかつては交通路としても賑わっていたそうだ。

やがて尾根道は下りになる。西側の展望が開ける。雲取山、武甲山、両神山、そして浅間山、すばらしい展望だ。

下り道を下りきる。小さな谷戸、そして田んぼ。西久保田んぼだ！

小学生たちの田んぼ、ボランティアの人たちの田んぼ、早稲田大学の古代米研究用の田んぼ・・・実にさまざまだ。

東屋でひと休み。ナラ枯れや里山の保全についてのご苦労など、話を伺う。ここで今日のガイド坂本さんとお別れ。“雑木林展示ゾーン”のすばらしいガイドありがとうございました。

　さて、我々はひと息ついて、狭山三十三観音の二十八番札所「西久保観音」に向かう。目と鼻の先だ。古いお堂に参拝した。毎年 1 月 17 日と 8 月 17 日に行われる「双盤念仏」の「鉦はり（カネハリ)」が有名だそうだ。境内には「縁結びの木（アオイ)」や「大きな乳イチョウ」そして樹齢千年を超える？という巨大な榧（カヤ）の木がある。

「西久保観音」に隣接する鎮守の森には、「出雲祝神社」がある。しかし、バスの時間が迫っている。由緒ある神社にはお参りできず、参道入口で拝礼して神社をあとにした。境内には狭山茶の由来を記した大きな「重闢茶場碑（かさねてひらくちゃじょうのひ)」がある。これも案内石碑だけを横目に見て、「JA 宮寺支店前」バス停へ急いだ。5 分ほど遅れてきたバスに総員 18 名が無事に乗車。

さいたま緑の森博物館”と“入間市宮寺地区の史跡”を訪ねる旅を終えた。

みなさん、お疲れさま。楽しい一日でした。お楽しみはまだまだ続く。

ありがとう！

【蛇足ですが、当日の概要】

狭山丘陵に学ぶ　緑の森博物館

１，集合　　3 月 19 日㈭ 9 時 15 分　西武鉄道 小手指駅南口駅前広場

２，訪問先　さいたま緑の森博物館案内所（入間市宮寺 889-1）

３，行程　　①9 時 25 分発西武バス宮寺西行きバスに乗車、荻原バス停にて下車

②10 時頃、緑の森博物館担当による狭山丘陵ガイダンス

終了後ガイドウォーク「里山満喫コース」散策

（大谷戸湿地から西久保湿地までフィールドワーク 約 1 時間）

③西久保観音・出雲祝神社見学　一帯は昔ながらの鎮守の森の風景

④JA 宮寺支店前バス停 12 時 10 分発 小手指駅南口行きバス乗車

４，担当　　C グループ　粕谷徹、田野勝彦、茂出木正和

（文責　田野　勝彦）